

夢に向かって

幸せを与えられる人になりたい——

赤間 ^{あやか}彩夏 さん (県北中3年)

第27回



私の将来の夢は、ウエディングプランナーになることです。テレビドラマがきっかけで興味を持ち、なりたい職業の授業で調べたら、人を幸せにする素敵な仕事だと思ったからです。

私はバレーボール部の部長で、先日、最後の中体連が終わり、部活動は一区切りしました。振り返ると、顧問の先生やチームメイトに支えられて、あまり部長ということを考えすぎずに、のびのびプレーすることができました。高校でもバレーボールを続ける予定なので、チームメイトと協力し合いながら、目標に向かって努力していきたいです。

部活動が終わった今は、受験に向けて、少しずつ勉強時間を増やしています。勉強する時は、スマートフォンの電源を消して集中できるようにしています。

夢が叶ったら、「任せてよかった」と思ってもらえるプランナーになりたいです。その人にとって特別な日と一緒に作っていく仕事なので、信頼される人にならないといけないと思っています。嘘をつかないことや約束を破らないなど、基本的なことを守りながら、バレーボールで学んだ協力し合うことを心がけて、これからも自分を成長させていきたいです。



〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁目二-17
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2181
E-mail: somae@town.kumini.fukushima.jp URL: www.town.kumini.fukushima.jp

町長コラム



ま 真こらむ

【第36回】

優しさの心持ち

「もうちょっと低めに。キャッチャーは座ってるから」。「あ、いいっすねえ、そんな感じ」。人生初の始球式に向けた当日の付け焼刃的な練習が始まる。

会場に着くや否や、高橋博会長や役員の方々の皆さんを始め、お父さん、お母さんたちにあいさつしながら、それとなく「初めて感」を伝える。と、伊藤隆道さんが「練習しますか?」と誘ってくれる。神、降臨だよ、ホントに。僕、心の中で拝みましたもの、伊藤様って。

あれは5月下旬。生涯学習課長が「始球式 8:30～」と黒々と大書した付せんを貼った案内状を持ってくる。そして言う、事務的に。「国見ソフトボールスポーツ少年団長杯の始球式で投げてください、と町長に伝えてほしいと言われたので伝えます」と。この大会はソフトボールスポーツ少年団のお父さん、お母さんたちの手作りの大会で、県北地区からたくさんのお子さんたちが参戦。昨年、感動した大会だから今年も行こうとしてたけど、ナニ? 始球式? 僕、投げるの? 教育長じゃダメなの? 「ダメです。町長をご指名です」と課長。

ま、まだ時間があるから、一旦、忘れよう…。で、大会前夜がピーク。ずっと困った、困ったのリフレイン。そして冒頭…。

投球を教わりながら思う。「きっと、子どもたちにもこんなふうに教えてるんだろうな。だから子どもたちは楽しそうに試合してるんだな」と。自分の子どもが卒団しても協力する保護者たちがたくさんいる。部活動地域移行や総合型地域スポーツクラブの原点は、こういった心持ちにあるんじゃないかなあ。



引地 真